

平成20年度第2回学校保健会議事録要旨

平成20年度府中市学校保健会第二回次第

1 日時

平成20年11月4日（火） 午後1時30分～

2 場所

北庁舎第6AB会議室

3 次第

(1) 報告事項

多摩地区学校保健研究協議会について……………資料1

(2) 議題

1 アンケートの報告について……………資料2

2 府中市の学校保健計画について……………資料3

(3) その他

- ・次回の予定
- ・連絡事項など

<議長>それでは、定刻になりましたので、第二回学校保健会を始めさせていただきます。始めに事務局から話があるそうなので、よろしくをお願いします。

<事務局>こんにちは、お忙しいところご参集いただきありがとうございます。前回今年度の委員さんの名簿が提出できず申し訳ありませんでした。お手元にお配りしていますが、ご確認ください。その名簿のなかに PTA の中学の代表の委員さんの交代がありましたので、ご紹介します。村木委員さんがなられました。よろしくをお願いします。

<委員>前回の会議は、欠席し、今回初めての出席になります。PTA 連合会の副会長をしています。また、1 中の PTA 会長も兼任しています。よろしくをお願いします。

<事務局>また、本日、松田委員さんと船山委員さんと大山委員さん及び林委員さんからは、欠席の連絡をいただいております。また、片倉副議長さんも 30 分ほど遅れると連絡がありました。大変申し訳ありませんが、事務局の学務保健課長の田中も欠席となっております。

次に本日の資料の確認をしたいと思います。資料 1 が多摩地区学校保健研究協議会、資料 2 がアンケートの報告、資料 3 が学校保健会計画案となっております。よろしいでしょうか。以上です。

<議長>早速、始めます。資料 1 を出してください。多摩地区学校保健研究協議会が行なわれました。それぞれの市でどうゆうことをやっているのか、と食物アレルギーの対応の話があった。府中市学校保健会から私と吉野委員さんと事務局が参加しました。吉野さんから内容についてお話します。

<委員>今会長から話があったとおり 4 人で参加しました。私も初めてで、東京都学校保健会の主催で行なわれました。各市の報告と協議事項があり、協議事項は、インフルエンザとアレルギーの話がありました。各市の参加は、確か 10 市参加していて、アンケートがあつて、国立市と清瀬市が市としてまだ、できていない、もちろん各学校にはできているが。ただ、各学校の保健委員会も年一回開催義務があるのに、一回も行なわれていないところもある。名目だけのところもある。印象に残っているのは、多摩市が活発な報告をされていた。各部会に分かれて部会や講習会をしているようです。協議事項の新型インフルエンザについては、国家的問題なので、全体で取り組んでいるという事です。アレルギーについては、エピペンが承認されて、現場での取扱の責任問題が不明確で現場の方が心配なさっている。今後より明確になっていくであろうという話であった。

<議長>私も補足というか意見を言わせていただきたい。学校保健会の事業は、いままでもやっていた。講演会も何回やったかだけでなく、参加者は、1割もいない。講演会を増やせばいいという問題ではない。やらないより、やったほうがいいが。全体で話し合って具体的行動をとれたらと思っています。講習会は個々に今までどうりやればいいので、例えば、新型インフルエンザ、食物アレルギーなど各部局別々にやるのではなく、みんなで参加していく形の方がうまくいく。新型インフルエンザについては、ガイドンスを作成中である。大体骨格は聞いている。保健所と医師会を通して市役所からと二本立てで動いている。とりあえず、フェース3までできている。フェース4の人から人へうつった時どうしようかというシステムを作っている。できてからは、ガイドンスどおりにやるようになるが、そのとき、学校保健会では、何をやるかになる。例えば、学校閉鎖になる。一人でもでたら、学校閉鎖に多分なる。そのときの子どもと親との連絡体制、勉強、自宅ではどうするかなど決めておかねばならない。アレルギーに関して専門の先生の指導では、積極的にみてくださいというのが、目的です。半年前、学校のアレルギーガイドラインを作りました。これを使ってどんどん積極的に学校として管理してください。どの程度拡大してみてくださいかということですが、吉野委員がおっしゃられたように、いくつか問題点がありまして、おきたときの体制作り、システムづくりができていないので、学校としても手を出しにくいので、学校保健会として、どうゆうシステムを作っていくのか話し合っていくようになると思う。最初としては、長い話になってしまったが、事務局で何かありますか。

<事務局>特に、追加はありませんが、今のお話は、お手のもとの資料1に載っています。東京都から、今年度から5年間無料接種になった麻疹の第3期4期の予防接種の4月から6月までの接種率が、3期の中学1年が、34.5%、4期の高校3年が、23.6%と全国に比較して低い状況でした。福祉保健局と連携して接種率の向上を図りますと話がありました。付け加えると以上です。

<議長>また、後でもいいですが、今のところでわからないところとか、聞いておきたいところがあれば。

それでは、2の議題に入らせていただきたいと思います。前回のアンケートの報告です。資料のほうは送られていると思いますが、特に他の地区と大きく違うところはないと思います。ひとつのデーターとして、学校保健会としては、これから取り組みをしていくなかで、各セッションでどうゆうことをやっていくかデーターが資料となると思い

ます。具体的に何か感じたことがあれば、ご意見を伺いたいと思います。

最初に事務局から説明してください。

<委員>花田の方から説明させていただきます。一学期ほぼ全学校小学1年生から中学3年生に実施いたしました。前半は、文部科学省のアンケート。15以下は、本市独自アンケートの内容になっています。なお、全国平均がでていますが、サンプリング数をみてもらうとわかりますが、完全に20年度全国平均の集計ができていません。20年度全国平均は、悉皆になっていないサンプリング調査ですが、本市の調査は、悉皆になっています。

それでは、それぞれの項目について、簡単に説明というか、気づいた点にふれさせていただきます。まず、文科省の調査ですが、Q1からですが、運動部や地域スポーツクラブへの所属してどのくらい活動をしているか、また、一日の時間に換算するとどのくらいか。という調査です。これを拝見すると、スポーツは、小高中低で小学校で高く、中学校で低い傾向があります。しかし、小学校も中学校も運動することについて、肯定的に捕らえていて好きだと回答した人が多い。という傾向がある。つづきましてQ4からQ5のにかけて、朝食、睡眠時間について、朝食については、小学校9割、中学校は、8割ほぼ毎日とっている。残りの10%から20%が、朝食をとっていないので課題はある。睡眠時間については、睡眠時間の少ない府中子とみることができる。Q6のテレビの視聴時間は、ある程度予想がつくがテレビに多く時間がとられている。Q7からQ11までの健康意識アンケートですが、体力に自信がありますかについては、小学生では、比較的肯定的な意見ですが、中学校では、66%の生徒が体力に自信がないと回答をしています。Q12からQ13ですが、これについては、食べる量、バランスともに、小学校の方が気をつけている生活をしている結果になった。知識としては、中学生は多く知っているはずで、先行しているわりに、実践につながっていない事が、浮きぼりになった。食育の重要性が課題である。独自アンケートのQ15からになりますが、歯ブラシをしているかについては、ほとんどがやっているのですが、食事のたびにやっているかどうか、学校の昼食は昼休みになるが、なかなか行なわれていない。Q16からQ17喫煙飲酒の影響を聞いている回答です。小中学校とも害があると回答しているんですが、中学校の16%にも及ぶ生徒が無回答。わからないはずはないので、このところがどう分析していいかわからないが、ずぼらな言い方をすると、

酒飲んで、たばこ吸って別にいいじゃないという風潮がこのなかにあるのではないかと推測します。つぎの家庭ではなにをしている時が一番楽しいですか。との質問ですが、テレビ、ゲームが多いが、家族の会話にも触れられています。小学校42%で楽しいと答えたが、中学校は21%と半減しています。我が家の状況を勘案すると、やはり、問題がある。次にふだん何か困ったことや心配ごとがある場合、一番相談できる人は誰ですか。について、当然、親とか先生という回答を期待しているわけですが、年齢と共に中学になると親から友人にシフトしていくのは、自然の流れといえそうですが、こういう傾向があるのかなと思います。最後の朝食や夕食は、家族といっしょに食べていますか。の設問について、私の個人的な意見であります。家族で食べている割合は思ったより多いと思います。ただ、気になるのは、誰かと食べているのであって、数字には表れない例えば、父親がどのくらい夕食に参加しているのか、私も反省しなければいけない数字がでているのかなと思いました。ざっくりばらんでありますが、報告します。

<議長>ありがとうございます。みなさんで何か気になる事や意見がありましたら。

<議長>では、僕の方からすこしだけ。こういうアンケートをとったわけですが、これについてどうゆうふう学校としてアプローチするかということで事務局に僕のほうから質問なんです。具体的にこうしたい、ああしたい、こうしたらいいと出たときに、教育委員会として決めてもらう段どうなるのですかね。例えば、府中市は朝食を食べていない人は大変少ないのですが、全国には、朝食を出している学校もある。あったかいところは、少ないが寒いところはマラソンをしている小学校はいくらでもある。自殺行為だという人もいるが、あったかいところでも、オーバーをきないで、短パンできて、マラソンをして、授業に入るところもある。食後に歯磨きを励行しているところもある。具体的に各委員から出てきたときに、どうゆう流れになるんですか。この会議の位置付けがわからないんですが、決め事は反映されるのですか。

<事務局>具体的に話が出てきたときに、学校保健会でこういった意見がでましたと担当する課につなげて、連携していきたい。歯磨きであれば、指導室に話さなければならないし、もちろん学校にもだが。すぐに、この場で意見がでて、決定できないことがある。

<議長>わかりました。皆さんのほうで何かありますか。

＜委員＞歯ブラシの回数の教育は今どうなっているのですか。私は一日一回しっかりみがけばいいと思っているのですが。3回やらなくてはいけないのでしょうか。

＜議長＞野間先生お願いします。

＜委員＞各論になりますが、毎食するのが、望ましい。指導としましては、一日一回きちんと磨く磨き方の問題ととらえている。時間が取れるとき、おおくは、寝る前の歯磨きになると思うが、10分ぐらいかけて磨いてもらう。朝昼できる方はもちろんやってもらう、生徒さんは、朝昼は難しいので、夜はきちんと磨いてもらうというのが一般的指導です。歯磨きしている、していないよりも、発生率をみると、例としてあげると、毎日ハンカチをもってきている人、もっていない人のように生活習慣がきちんとしている人に発生率は低い。歯磨きをしましようという指導は、はたしていいのかどうか。

＜議長＞ありがとうございます。他に各セクションでなにかありますか。

＜委員＞アンケートの報告書そのものが、当然計画に反映されると思うが、現状を把握されているので、それに対して、計画のなかに目標を記載していくのかどうか。

＜事務局＞今回のアンケート調査が、計画に直接結びつかないものもありますが、全国と比べて府中市の子どもの水準が劣っているものがあれば、レベルを上げていくような学校保健会としての目標、計画今回計画を作成するときにそうゆう目標を入れていただくとありがたいです。

＜議長＞何パーセントとか今ここでいうべきことではないですが。今回のアンケートは、毎年やっていくことなので、まずは全国レベルに、目標は毎年は変わっていくものと考えます。そうしないとレベルアップにつながらない。

＜議長＞他に何かありますか。何か総合的にありますか。また、後でも結構ですが。それでは、次に議題2の府中市の計画について、事務局で概要を作ったので、その説明をしてください。

＜事務局＞資料3をご覧ください。前回課長がお話ししたように、今年度と来年度で、策定していただき、22年度から実際に行動していく方向でご検討していただきたいと考えております。この案は、「都立学校における健康づくり推進計画」をもとに、作成しました。第1章に基本理念、第2章に児童・生徒の健康づくり推進計画の基本的な考え方とし、策定の趣旨、計画の性格、計画期間をしめしました。第3

章で、児童・生徒の健康づくりの現状と課題について、府中市保健統計や今回のアンケート調査から現状と全国的な課題でもありますが、府中市の課題をとりあげました。第4章では、健康づくりの具体的な施策の展開ということで、前回の会議にも取り上げられた個別の課題をどうするかということで、10項目にわたって考えました。①心の健康づくり②性感染症の取組③体力向上への取組④学校環境衛生への取組⑤安全事故防止への取組⑥歯と口の健康づくりへの取組⑦食生活への取組⑧予防接種の取組⑨新型インフルエンザ等感染症の取組⑩喫煙飲酒薬物乱用防止への取組に分けました。この個別の課題について、委員さんにご意見を伺い、府中市の児童・生徒をに対するレベルアップを図っていきたいと考えております。そこで、できれば個別の課題に対して、担当を決めていただき協議していただければと考えております。最後に健康づくりの体制ということで、府中市教育委員会、学校、家庭、PTA、学校保健団体、地域、地域保健関係機関を載せました。そういう構成になっています。よろしくご審議をお願いします。

<議長>今後の活動内容の細かい項目を4章として①から⑩間で具体的に考えました。これ以外にもあれば、いっていただければいいと思います。大体の目標として、最初はこれでやっていきたいと考えているが皆さん方で気になる事ことが何かあったら言ってもらいたい。どうでしょうか。今まで深く考えなくてやってきたことをまっとうしてやる。連絡しあってやる。新しい事をする事でないと考えてもらっていいと思いますが。

<委員>10項目の7項目目の食生活になっているが、何か大きなタイトルで食育にしたほうが大きく感じるが、提案です。以上。

<議長>東京都でもこう書かれているのでは。東京都の冊子に沿って作ってくれたと思います。

<事務局>すいません。この計画は、都立学校健康づくり推進計画から抜粋して、多少内容を変えてあります。食育の取り組みということで話があったので、検討してみます。

<議長>本には、食に関する指導の推進と書かれている。

<事務局>多少変えている。食に関する指導の推進は、東京都の冊子には、健康教育の推進という項目にかかっている。構成として始めに課題に対する取組ということで、10項目あげました。それに対する健康教育はどうなるかという事で書かせてもらいました。食育にするかどうか検討してみたいと思います。

<議長>このことは、担当の先生に細かい個別に入るの、そのとき

に担当がきまったところで、話し合ってもらっても結構です。よろしくをお願いします。

<委員>医薬品の正しい使い方という点は、東京都のなかには、どうゆう項目の中に入るのかカバーされているのか。または、新しい項目に入るのか。

<議長>医薬品の正しい使い方というのは、ここ学校保健会でやる範疇にはいつてくるのでしょうか。

<事務局>環境衛生のなかにももしかしたら、はいつてくるかもしれませんが。あくまで案なので、入れるのであれば、言っただけであればいいと思います。

<議長>僕らとしては、入って欲しい内容です。医者から言うと、ぜん息の子が何を飲んでいるか養護の先生知らないと困る。例えば、ぜん息をおこしたら中学生、高校生は、自分で携帯吸入器で発作はとまる。発作がおさまったら走りまわっては困る。おこしたら安静にしないと困る。楽になったら運動に参加するは、とんでもないこと。理想をいえば、学校で薬を使うなら保健室に預かってもらう保健室で使ってもらう。この子はここでこういう治療をしましたということを養護の先生が把握していないと事故のもとになる。じんましんで、収まったから運動した。そういうことはまずいんですね。アレルギー反応を起こしていた場合、運動でアナフラシーを誘発することがある。そうゆう知識もなく元気だからいいで、薬は子どもが勝手に使っているでは困る。知識として持っててもらいたい。学校で飲むなら、学校で管理してもらいたい。

<議長>他に何かきずいた事なんでも結構ですが。

<委員>取組①～⑩の②の性感染症予防への取組と健康教育②は連動していると思うが、そうすると②にある性教育・エイズ教育の推進のところ細かい事になるが、エイズ等といれてもらえれば連動するが。

<事務局>おしゃられるように、エイズ等と入れたほうがいいと思います。

<議長>性感染症ですが、東京都の冊子は、中学生でなく高校生を台本に書いている。高校では、かなり大きな問題で積極的にやっている。中学生にどこまでやるか。親御さんの教育になるのではないか。親からクレームが来る可能性もあるとおもったので、担当になった方は、よく中学生が対象ということを入れて欲しいと思いました。

<委員>中学校の性感染症については、保健の授業のなかでかなり取り上げられています。ですから、その範囲のなかで、確かに親の意見

もあると思うが、学習指導要領のなかで示されている範囲内で適正にやっていく事が大事だと思います。

<議長>それでいいと思います。ただ、高校生になるとかなりびっくりする内容のものもあります。中学2、3年になるとかなり進んでいる子もいる。そうゆう子たちに対して避妊の知識をどの程度まで教えるか担当の人は考えて欲しい。

<議長>大体項目として、10項目に分けて、他にあれば増やせばいいが、細かく担当を決めてもらって、一人一人が動いて話し合う事になると思うがこの構成から始めさせてください。担当ごとに個別に話し合ってもらって、21年度までに作ってもらう形になると思う。班分け担当分けをしたい。今日は、そこまでしたい。完全に分かれるわけではなく、かなり重なって入っていかなければいけないし、皆さんの意見が入っていかねばならない。たたき台を作ってもらって、そこからみんな集まってもらって作成していく形になると思うが。大体の形を作ってもらって。1年半ありますが、会議の回数がすくないので、やっていく動きになると思うが。事務的にどうするか担当分けをするかや、次回は個別に話し合ってもらう時間をつくらなければならないが、その前に、担当である程度こうゆうことがしたい、ああゆうことがしたいというある程度のことを簡単に決めてもらうようになると思うが。繰り返しになって申し訳ないが、今までやってきたことなので、あらたに皆さんに新しい仕事をやらしてもらおうと思っていませんので、あんまり、悩まなくていいと思う。その辺のことで事務局として、どうゆう担当分けするとか。進めてもらうと助かる。

<事務局>議長さんのおっしゃられているとおりに10項目あげたので、各委員さんで話あってもらってこういう問題がある、ああいう問題があるということで、次回3回目は、担当ごとに集まってもらって話し合ってもらうようになると思います。それで、具体的に、お話があったので、すこし名称を変えてもらっても結構ですし、新しいものを入れるなら入れても結構ですが、今出ている、10項目を2項目ずつ担当してもらって、ちょうど20人の先生がいらしゃるので2項目を4人の方で一応、区分して話し合いをしていただきたいと思うのですが。具体的にはどういたしましょうか。

<議長>事務局で案があればお願いします。

<事務局>一応担当分けは考えたのですが、発表してよろしいでしょうか。

<議長>とりあえず、こうゆう案はどうでしょうかという事で皆さん

のご意見を伺いたということで発表してください。

<事務局>それでは、大変僭越ですが、発表させていただきます。

事務局案別紙のとおり。

一応事務局では、このように考えましたが、何かご意見があればお願いします。

<議長>どうでしょうか。特になければ、こんなところから動きはじめてもらってという形にさせてもらいたいが。また、後でかわることも可能である。特になければ。個別にどう動くか。次回からになるが、まったくゼロから個別に話し合ってもらってもあれなんで、ある程度代表の方に考えてもらった方がいいと思うのですが。事務局と連絡しあいながら、資料をもらうなり、次回いきなりでなく、事務局と連絡をとってもらうためにキャップを決めておいたほうがいいと思うんですが。

<事務局>できれば、ぜひお願いします。

<議長>8番9番は僕が担当ということで、私がやります。台本を作ってきます。心の健康づくり、性感染症は、友松委員よろしいでしょうか。高校生の資料結構あるんですが。高校の先生が、レジメを持っているんじゃないかと思いますが。心の健康づくりのほうは専門外なので。

<委員>話し合ってやります。

<議長>3番5番は、花田さんよろしくをお願いします。

<議長>学校環境衛生の取組、喫煙飲酒薬物乱用への取組は、吉野先生中心となってお願いします。専門外になってしまう事もあると思いますが、片倉先生にお願いしてもいいし、事務局にお願いしてもいいと思います。歯と口の取組と食生活への取組は、松田先生お休みなので、野間先生お願いします。松田先生に頼んでもらっても結構です。次回の会議が時間内に終わるように考えています。いままでのところで何かありますか。次に進んでよろしいでしょうか。次回の予定になります。事務局お願いします。

<事務局>ありがとうございます。次回の予定ですが、1月27日教育センターを予定してます。ご予約のなかに入れていただければありがたいのですが。

<議長>何か今のうちに聞いておきたいことがあれば。

<友松委員>次回は、こちらで用意してくるのですか。

<議長>大まかな案を持ってきていただければ結構ですが。そのときに作ってこなくてもいいですよ。僕のところも決まっていないので、

資料を持ってくる形になる。一年半かかって作るの、たたき台として考えてもらう事でいいと思う。心の健康づくりといっても範囲が広がってしまうので、ぱーと僕もイメージがわからないのですが、事務局と相談してもらって何をやるのかとところから始めてもらって結構ですが。

<委員> 1月27日は何時からですか。

<事務局> 今日と同じ午後1時30分からです。

<委員> 矢崎小学校で研究発表がありまして、私と校長先生はいません

<事務局> それでは、また、課長とも検討して、お知らせします。

なるべく早くお知らせします。

<議長> 後どうでしょう。保健所は、他のところにもかかわりがありますよね。すべてどのセクションも相談にいちやうと思うんですよね。だから、一応他の先生が出してくれるので、今やっている範囲で箇条書きぐらいでこうこうと入ってくればいいんじゃないかと思います。他どうでしょうか。1月末なので、2、3ヶ月ぐらいあるが、気楽にやっていきたいと思います。いままでやってきたことで、新しい事も出てくるかもしれませんがそんなに難しく考えなくてもいいと思います。特になければ、それでは、これで終わります。